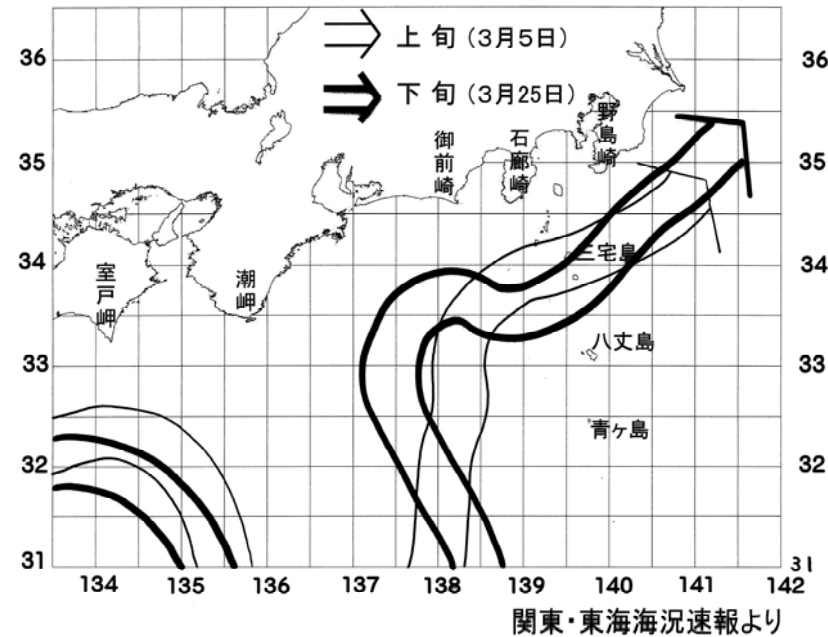


漁海況月報

令和2年3月1日

No.3 ~3月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



3月定地水温の旬平均値() (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	15.3	16.0	15.7	16.1	15.8	15.3
	1.7	1.9	2.1	1.7	1.6	1.8
中旬	15.3	16.0	15.4	16.2	16.4	16.0
	1.5	1.7	1.5	1.5	1.6	2.1
下旬	15.3	15.6	15.1	16.2	16.1	15.5
	1.2	1.1	0.8	0.9	0.8	1.2
月	15.3	15.8	15.4	16.2	16.1	15.6
	1.5	1.6	1.4	1.4	1.3	1.7

*地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

3月を通じてA型で、上旬は潮岬沖31°N付近から南東に進み、30°N、136.5°E付近から、137-139°Eの間を北北東に流れ、三宅島付近を通過して北東に流去した。中旬は潮岬沖31°N付近から南東に進み、29.5°N、137.5°E付近から、137-139°Eの間をS字状に北上し、三宅島付近を通過して北東に流去した。下旬は潮岬沖31°N付近から東南東に進み、30.5°N、137°E付近から、137-139°Eの間を

S字状に北上し、三宅島付近を通過して北東に流去した。

上旬には、御前崎沖の黒潮屈曲部から遠州灘沖～熊野灘沖にかけて、三宅島北の黒潮東流部から大島東水道に向けてそれぞれ暖水波及がみられた。中旬には、御前崎沖の黒潮屈曲部から駿河湾西の湾奥部に向けて、御前崎沖の黒潮屈曲部から大島西水道に向けてそれぞれ暖水波及がみられた。

【県下沿岸域】

上中旬は、伊東、稲取、下田、雲見、沼津、焼津とも「高め」であった。下旬は、伊東、稲取、下田、雲見、沼津、焼津とも「やや高め」であった。

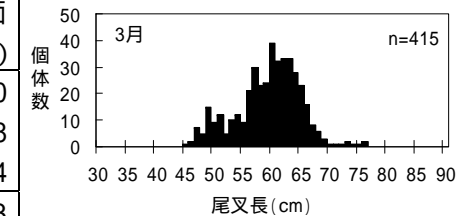
【竿釣カツオ】

3月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは24.3トンで前年同月(89.5トン)の27%であった。魚価は733円/kgで前年同月(300円/kg)を上回った。

漁場は28-30°N、132-134°Eの四国沖及び33-34°N、138-139°Eの伊豆諸島西方海域などであり、御前崎港で測定した魚体サイズは、大(尾叉長60cm)を主体に、中(尾叉長57cm)、特大(尾叉長65cm)、小(尾叉長49cm)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚げ量(県内主要5港)

期間	水揚げ量(ト)	水揚げ隻数	平均水揚げ/隻(ト)	平均単価(円/kg)	
R2年3月	上旬	10.8	2	5.4	530
	中旬	8.8	5	1.8	768
	下旬	4.7	7	0.7	1,134
R2年3月計	24.3	14	1.7	733	
H31年3月計	89.5	25	3.6	300	
H30年3月計	25.6	6	4.3	347	



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は205.2トンで前年の同漁場の水揚げ量(229.4トン)の89%であった。また、1か統あたりの水揚げ量は、29.3トンで前年(32.8トン)の89%、平年(53.6トン)の55%であった。水揚げ量の多い漁場は、伊豆山漁場(76.7トン、マイワシ、さば類、スルメイカ)、次いで北川漁場(45.0トン、スルメイカ、ブリ、さば類)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)の通りで、マイワシは93.1トンで、前年比61.9倍、平年比1.7倍であった。スルメイカは58.3トンで、前年比1.7倍、平年比2.6倍と3月の水揚げ量としては昭和57年以降、平成22年に次いで多かった。ブリは18.9トンで、前年比15%、平年比36%、銘柄ぶり主体であった。漁獲されたブリのうち、銘柄ぶりは17.0トン、前年比14%、平年比38%であった。さば類は12.5トンで前年比32%、平年比36%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは5.4トンで、前年比19%、平年比53%、ゴマサバは7.1トンで、前年比65%、平年比25%であった。カタクチイワシは2.8トンで、前年比30%、平年比3%であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)の通りで、各漁場の水揚げ量の割合は、マイワシでは伊豆

山漁場が 73% (67.8 トン)、古網漁場が 27% (25.2 トン)、スルメイカでは北川漁場が 57% (33.1 トン)、富戸漁場が 24% (13.9 トン)、ブリでは川奈漁場が 37% (6.9 トン)、谷津漁場が 30% (5.8 トン)、北川漁場が 29% (5.5 トン)、さば類では伊豆山漁場が 25% (3.2 トン)、北川漁場が 20% (2.5 トン)、古網漁場が 18% (2.2 トン)、川奈漁場が 16% (2.0 トン)、カタクチイワシでは古網漁場が 79% (2.2 トン) を占めた。
* 平年：昭和 57 年～平成 31 年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マイワシ	93.08	61.89	1.73	伊豆山、古網
スルメイカ	58.30	1.74	2.64	北川、富戸
ブリ	18.90	0.15	0.36	川奈、谷津、北川
さば類	12.51	0.32	0.36	伊豆山、北川、古網、川奈
カタクチイワシ	2.83	0.30	0.03	古網

[サバたもすくい]

小川港所属の棒受網漁船はたもすくいで操業し、漁場は月を通じて銭洲に形成された。水揚量はマサバ 749 トン(前年同月 1.1 倍)、ゴマサバ 282 トン(前年同月比 1.4 倍)であり、1 隻あたり水揚量はマサバ 20.2 トン(前年同月 23.5 トン)、ゴマサバ 7.6 トン(前年同月 6.9 トン)であった。1kg あたり平均単価はマサバ 81 円で前月(125 円)、前年同月(110 円)を下回った。ゴマサバは 128 円で前月(120 円)、前年同月(117 円)を上回った。

水揚げされたマサバの体長組成は 32cm にモードを持つ単峰型、ゴマサバの体長組成は 33cm にモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R2 年 3 月上旬	109	151	4	12	9.1	12.6	92	126	銭洲
中旬	345	58	3	10	34.5	5.8	98	131	銭洲
下旬	295	73	4	15	19.7	4.8	58	130	銭洲
R2 年 3 月計	749	282	11	37	20.2	7.6	81	128	銭洲
H31 年 3 月計	706	208	9	30	23.5	6.9	110	117	銭洲
H30 年 3 月計	656	86	12	36	18.2	2.4	106	110	銭洲 三本

* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シラス船曳網]

県内主要 6 港における 1 か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が 416kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が 738kg であった。平均水揚量は 607kg と前年同期(617kg)の 98.4%、平年同期(過去 5 か年平均: 435kg)の 1.4 倍であった。また、総水揚量は 430.0 トンで前年同期(304.1 トン)の 1.4 倍、平年同期(268.0 トン)の 1.6 倍と、前年、平年同期を上回った。平均単価は 485 円/kg と、前年同期(465 円/kg)の 1.0 倍、平年同期(724 円/kg)の 66.9%と、前年同期並となり、平年同期を

下回った。

シラス水揚量(主要 6 港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新居	36.3	5	62	586	433
舞阪	129.6	5	195	665	558
福田	91.3	5	130	702	345
御前崎	52.9	3	33	1,604	463
吉田	61.8	5	140	441	567
静岡	58.0	7	148	392	505
R2 年 3 月計	430.0	30	708	607	485
H31 年 3 月計	304.1	25	493	617	465
H30 年 3 月計	490.4	39	819	599	952

* 各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

* 平年同期：過去 5 か年(平成 27～平成 31 年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、伊東港では 430.2 トン(前年同月比 1.4 倍、平年同月比 6.1 倍)、静岡港では 0.05 トン(前年同月比 66.7%、平年同月比 36.6%)、沼津港では 2,067.8 トン(前年同月比 2.5 倍、平年同月比 3.2 倍)、小川港では 495.6 トン(前年同月比 78.8%、平年同月比 1.3 倍)であった。カタクチイワシは、静岡港では 3.1 トン(前年同月、平年同月は水揚げ無し)、沼津港では 44.7 トン(前年同月水揚げ無し、平年同月比 203.3 倍)、小川港では 0.7 トン(前年同月は水揚げ無し、平年同月比 17.5%)、伊東港では水揚げが無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網 7 か統の水揚量は、マイワシは 93.1 トン、カタクチイワシは 2.8 トンであった。
* 平年：過去 5 か年(平成 27～平成 31 年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

3月 9日	ドックから回航(海上試運転)	(1日間)
3月 12日	3月 13日 サクラエビ音響調査・地先定線観測調査	(2日間)
3月 17日	～ 3月 18日 いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

